



同窓会だより

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1 TEL(058)324-1201 FAX(058)323-0651

ホームページ <http://www.motosu-dousoukai.org/>

第49号

卒業生総数 31,603人

本巣中学校	2,571人
本巣高等女学校	2,592人
併設中学校	682人
本巣高等学校	21,299人
本巣松陽高等学校	4,459人

(令和3年3月1日現在)



令和2年度は、コロナ禍に翻弄された1年間でした。学校は5月末まで休業。休業期間中は慣れない「オンライン授業」に教師も生徒も疲弊しました。6月の学校再開後も、学校生活は様々な制約を受けました。夏休みも冬休みも大幅短縮。遠足や球技大会、銀杏祭など、楽しみな学校行事はすべて中止。修学旅行も翌年度に延期の状況です。そんな中でも、生徒たちはかけがえのない「日常」があり、それを積み重ね、3年間で本巣松陽高校を築立つことになります。私たち教員はその生徒たちに寄り添い、最終的には生徒ただつた」と思えるようにしていかなければなりません。

コロナ禍の1年に思う

名誉会長（校長）大矢

晋

ソフトボール部の今年の3年生は、「近年最強チーム」と言われ、インターハイに行く予定でした。しかしコロナ禍で大会そのものが中止。生徒たちの無念は想像を超えるものがあると思います。けれども、顧問が部員たちにかけていた言葉が印象的でした。「確かにインターハイは目標だったけど、部活動の真の目的は、ソフトボールを通じて『気配り・目配り・心配り』のできる素敵な女性に育つこと。十分に目的は達成されたと思う。」

コロナ対応という経験のない業務に向かう中で、教員間のコミュニケーションがとられ、先生方が団結として成長したように感じています。私事ですが、私も教頭も今年度で定年となりますが、「百周年を花道に退職」のはずが、それも叶わなくなりました。管理職としての業務の最終的な目的が「先生方が働きやすい職場環境を作ること」だとすれば、コロナ禍のお陰でかえつて口でいろいろあつたけど、いい教員生活だったと言つて退職したいものです。



W.H.Oの報告によると12月初め時点では全世界の感染者は400万人を超え、死者数は110万人に上ったという事です。国内においては12月21日現在、約20万人の感染確認と2,900人の死者が報告されました。

1918年から1920年に「スペイン風邪」が大流行し、世界の人口の約半数近くが感染し、全世界で4,000万人が死亡し、日本では45万人の死者が生じたと記録に残っています。本巣松陽高等学校の校史百年の原点となつた頃です。この時から百年を経た2020年が、再び感

染症によるパンデミックが起きるとはだれもが想像できなかつた事態となりました。すべての生活様式が一変し、長期にわたり学校が閉鎖され、学び方や行事の在り方等多くの変化が求められてきました。

令和2年4月3日、岐阜県知事から「不要不急の外出自粛等」の要請が発せられ、続いて11月には岐阜県に非常事態宣言が発令されました。これに伴い、25日に感染拡大の強い懸念があつたことからオンラインでの実行委員会の委員会長会を開催し、「10月17日に予定していた記念式典と記念祝賀会を1年延期する」ことを決定しました。その後、記念祝賀会会場として予定している「岐阜グランドホテル」を調整し、令和3年10月16日（土）に実施することとしました。記念事業の一環である芸術鑑賞会と招待試合

も本年は中止しました。記念事業のメインとなる「正門周辺整備事業」についても、当初の工事計画に沿つて推進しました。国内全体に非常事態宣言が出され、学校も休校中でしたが、事業委員会と事務局で綿密な感染防止対策を講じ、5月12日に最少の人数で「安全祈願祭」を行い、工事が安全にしかも夢に向かって着実に進行されることを願いました。猛暑のなかで工事を請け負つてくださったヤハギ緑化（株）の尽力のお陰で9月9日、少數の関係者のみで竣工式を举行することが出来ました。9月初めの「銀杏祭」の場で、在校生と共に竣工式典をと願っていましたがこれも叶いませんでしたが、百年の歴史と伝統を次の世代に引き継ぎ、さらに次の百年に繋げたいとの願いの下、シンボルである正門が完成し、新しい歩みがスタートすることとなりました。

同窓生、教職員 P.T.A.等ご協力を賜った皆さんに深く感謝申し上げます。コロナ感染の収束を願いつつ、延期した事業が成就するよう、さらなるご支援をお願いいたします。2020年12月21日記

銀杏祭への

同窓会ブース展示について

副会長 遠山 信義（昭40年卒）

銀杏祭での同窓会ブースの展示は、百周年記念事業の概要を生徒及び保護者の皆さんや同窓生の皆さんに知つて頂きたいとの思いから、平成29年から3年間続けてきました。4回目となる令和2年は、新型コロナの影響で銀杏祭が中止になり、同窓会ブースの展示もかないません

でしたが、百周年記念事業である正門周辺の整備事業は予定通り完成し、9月9日に竣工式が執り行われました。百周年記念事業が完了したことで、銀杏祭への同窓会ブースの展示目的は終了したことになります（今後の扱いについては、現在のところ未定です）。関係者の皆さんのご支援、ご協力に感謝申し上げます。しかしながら、銀杏祭は今後も生徒達と先生方それと保護者の皆さんの方により継続されていきますので、多くの方に是非生徒達の努力の結果を観に来て頂くことを切にお願いいたし

● 本 部 ●

新様式の同窓会を「Let's Think!」



当番学年 浅野 恵一(平2年卒)

昨年この便りで、『同じ学び舎で過ごしたTeam本巣の一員として創立100周年をお祝いしたいと思います。』と案内を書かせてもらいました。しかし、コロナウイルス感染症の影響で状況が一変しました。記念式典も祝賀会も開催不可能になりました。それどころか、学校が休校となり、インターハイの大会も開催されなく悔しい思いをする高校生の姿、感染拡大とともに、不安が押し寄せる日々が続いています。最前線でコロナと対峙している方々には感謝の念しかありません。本年こそ、遅まきに100周年をお祝いできたらよいのですが、例年のような会食は今のところ自粛した方がよさそうです。政府からは、少人数・短時間で、なるべく普段一緒にいる人で過ごすことで感染予防対策をすることが大切だと示され、年末年始のGOTOトラベルも中止になりました。安全性の高いワクチンや特効薬が出ない限り、今までのように入会する機会は難しいのではないかでしょうか。

100周年を節目にして、こんな時だからこそ、新たな同窓会の在り方を探れたら嬉しいです。「Webミーティングの利用」、既存の掲示板の活用など、なかなか難しい問題なので、「これだ」という方法をすぐには思いつきません。しかし、これまで歴史を支えてきた諸先輩方、新たな歴史を創り上げてきた同級生や後輩の多くの英知を集めれば、「こんな方法があるんじやないか」と新たな発想が生まれるはずです。思いついた同窓会の新様式をぜひ同級生で広めてください。先輩、後輩にも広げ、事務局にも一報願えると新たな縁が広がります。すでに、私たち若人ではありませんが、努めてやまなければ、新様式や工夫で心の密は広げられるはずです。素敵な101年目の岐阜県立本巣松陽高等学校同窓生の絆が更に深まり発展していくことを私は期待したいです。

語り合い、つながりを深める会に

当番学年 高橋 宏幸(平3年卒)



『文武両道』、『質実剛健』。高校時代を想起した時、私の頭に浮かんでくる言葉です。高校時代は、朝学習から始まり部活動で終わる学校生活と、予習や復習などの学習をして眠りに就くという家庭生活を毎日繰り返していました。「時間が足りない」とつらい思いをした時もありましたが、私が支えてくれた言葉が、この二つの校訓でした。

また、私は、多くの人たちに支えてもらいました。学級の仲間、部活動の仲間、先輩、後輩、先生方・・・多くの人たちと過ごしました。そんな時に、「人のつながりの大切さ」を感じます。

さて、来年度は、卒業30年目の学年として、幹事を務めます。よりよい創立百周年記念式典ならびに祝賀会となるように尽力して参ります。ぜひ、たくさんの方々に参加していただき、百周年を祝うとともに、これまでの歩みを語り合い、多くの人たちとのつながりを深めていけたらと思ってます。

青春の原点で・・・

当番学年 國枝 肇(平12年卒)

創立100周年を卒業20年で迎えました。伝統ある高校の卒業生であることを誇りに思うと同時に、年月の経つ早さに驚きを感じています。

高校時代を思い返すと、いびつな形をしてから10年も経つたのかと思いますが、創立百周年という長い歴史のある本校は、歴代の先輩方が大勢いらっしゃることに、改めて驚きと嬉しさを感じます。今回ご縁があり、当番幹事をさせていただくことになりました。

しかし、令和2年に開催を予定していた記念式典及び祝賀会は残念ながら延期となりました。社会が大きく変わりつつある今、人と人とのかかわりがいかに大切であるかを改めて感じさせられます。私は、現在岐阜県で教員として勤務しています。同じ職場に本校出身の先輩が何人もいらっしゃり、母校が同じということでも親近感が湧き、一緒に仕事をする上でも大変心強く感じます。時には、母校での高校生活「あるある話」で盛り上がりもします。

関東支部の現状をご報告致しますと、会員数約200名で、その内総会・懇親会の出席者は約60名であり、減少傾向にあります。その後は、幹事会の開催もままならず、電子メールでのやり取りで、令和3年総会・懇親会の開催について、議論を重ねてきましたが、新型コロナウイルスの第3波の感染拡大により、中止することに決定しました。

この会を通じて、高校時代に勉強や部活動と共に熱を注いできた仲間との久しぶりの再会はもちろん、年代を超えて同じ母校出身の先輩方とも交流できる良い会になれると、非常に残念でした。

母校・本巣にご縁をいただいて

当番学年 澤村 希美(平22年卒)



平成22年に卒業してから10年も経つたのかと思いますが、創立百周年という長い歴史のある本校は、歴代の先輩方が大勢いらっしゃることに、改めて驚きと嬉しさを感じます。今回ご縁があり、当番幹事をさせていただくことになりました。

私は、現在岐阜県で教員として勤務しています。同じ職場に本校出身の先輩が何人もいらっしゃり、母校が同じということでも親近感が湧き、一緒に仕事をする上でも大変心強く感じます。時には、母校での高校生活「あるある話」で盛り上がりもします。

● 関東支部 ●

令和2年度総会・懇親会の中止報告と令和3年度総会・懇親会の中止

支部長 吉田 彰(昭41年卒)



関東支部は関東工業高等専門学校の卒業生を中心約200名の会員を有し、発足以来30余年に渡り、総会・懇親会を年1回開催してきましたが、昨年4月19日の令和2年度の総会・懇親会は新型コロナウイルスの感染拡大により、中止することになりました。

幹事一同、準備を進めており、特に竹中一人さん(平成元年卒、当時、総務省大臣官房参事官)に、「地方分権の動向と成果」と題し、講演をお願いし、総会案内の発送・出席者の取り纏めも終えておりましたので、非常に残念でした。

その後は、幹事会の開催もままならず、電子メールでのやり取りで、令和3年総会・懇親会の開催について、議論を重ねてきましたが、新型コロナウイルスの第3波の感染拡大により、中止することに決定しました。

創立百周年記念祝賀会
(令和3年度 本部総会・懇親会)

日時 令和3年10月16日(土)
場所 岐阜グランドホテル
(平成2・3年卒・平成12・13年卒)
の皆様です。

※日程変更等は、ホームページでお知らせします。

ですね。

頑張ります 同窓生 Vol.7

CAFE FLAT 店長 草野 多絵 (平5年卒)

スタッフ全員が母親で、「カンジが良い」と評判の、母親と子供に優しいカフェが本巣市にある。「CAFE FLAT」。そこで平成29年の開店以来、店長を務めるのが草野多絵さんである。

草野さんは北方中学校出身で、親のすすめと中学の先生のアドバイスを信じて本巣高校を受験し、入学した。高校時代は吹奏楽部に所属してフルートを演奏した。2年生の時の担任は長屋由喜子先生で、「文化祭で缶アートをやったことが印象に残っている。今でも5年ごとの同窓会に参加している」という。「やたら厳しい学校だった。その縛られた中で隠れて遊んでいたことが楽しかった。心を許せる一生の友人ができた。人生の中で一番楽しい3年間だった」と振り返る。高校卒業後は中京大学に進み、英文学を学んだ。また、アルバイトでお金を貯め、海外でのホームステイを度々経験した。初めて行つた海外はオーストラリアのパース。周囲が何を話しているかわからぬ環境で生活して、「今までなんて小さなことで悩んでいたんだろう。なんて小さな世界で生きていたんだろう」と感じた1ヶ月であった。生き方が大きく変わった。その後、カナダのバンクーバーやニュージーランドのクリストチャーチでもホームステイをして、海外の楽しさを感じた。大学卒業後は旅行会社に就職した。その後、ワーキングホリデーを利用してオーストラリアに行き、現地ガイドを務めた。そして、オーストラリア大陸1周や東南アジア巡りをして台湾を訪れた際、中国語に魅了されて3ヶ月間猛勉強して日常会話ができるようになった。

結婚後は、育児をする中で「世間とのつながりを持ちたい」と思うようになり、英会話教室のホームティーチャーを務めた。その後、カフェを開くこととなり、飲食店での勤務、図書館での勉強、料理教室などで1年以上の準備をして、周囲の多大な協力を得て、今の店舗の開店とともに店長に就いた。

「フランチと立ち寄れるお店にしたい」という思いと、段差のないフレットな店内が店名につながつている。「体に優しい食材を使つたカフェ」をコンセプトに、モーニングとランチとお弁当を提供している。「ソイマフィン」と呼ばれる、アルギンを考慮して卵やバター不使用の豆腐入りマフィンが人気。また、子供のための本のおもちゃも販売している。「脳の成長にも良く、大きくなつてからも、いろんな思い出がよみがえる木のおもちゃ。決して高いものではなく、手に届きやすい価格で準備している」と草野さん。「いすれはベビーシャワーを開催したり、英語を勉強し直して店内で英会話教室を開いたりしたい」とも語る。

普通のコーヒーメニューも8種類あるが、デカフェもあり、妊婦の方も安心である。「人と話さないと、子育てはつらい。人と話すことはとても大事で、気分転換もできる。子育ての悩みを抱え込まないで」と子連れで外食したい人にエールを送る。店内には、ほとんどが予約で埋まってしまう個室もある。ここは午前と午後に1組ずつがゆっくり利用でき、コロナ禍のこのご時世でも安心して利用できる。子育て世代の親子や家族にとつての、憩いの場である。

【令和2年12月29日 取材 インタビュアー 西尾 侑一 (平16年卒)】



CAFE FLAT

〒 501-0463 岐阜県本巣市小柿 1133
TEL 058-227-7008
URL <https://cafeflat.jmdofree.com/>

寄付金のご協力をお願いします*

* 皆様のご協力をお願いします*

今後の事業について

岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会
口座名称

● 郵便振替
00880-6-154003
● ゆうちょ銀行
店名 089店
口座番号 0154003

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、同窓会ならびに創立百周年の事業に関して今後、変更が生じる可能性があります。その際は同窓会ホームページ等で案内いたします。

訂正とお詫び

第48号の内容について、新型コロナウイルスの感染拡大のため、急遽予定変更が生じた内容があります。このことにつきまして、次のとおり訂正させていただきます。

百周年記念事業表彰式 (3頁)

マフラータオルデザイン入賞者表彰、エントランスエリア装飾銘板デザイン表彰、一行詩コンクール入賞者表彰については、中止しました。なお、マフラータオルデザイン表彰は書面にて報告し、他のものは個別に渡しました。

同窓会入会式 (6頁)

令和2年2月28日に同窓会入会式を開催したと記載しましたが、中止しました。なお、入会や理事の委嘱や記念品贈呈は滞りなく行われました。

揖斐郡本巣会 (4頁)

令和2年2月29日に揖斐郡本巣会を開催したと記載しましたが、中止しました。

新会員のみなさん!

ようこそ、新会員のみなさん!
新会員の皆様は、「令和3年卒」です

令和3年3月卒業 新理事 (敬称略)

◎ 令和3年2月26日 (金)、234名の令和3年3月卒業 新理事 (敬称略)

◎ 令和3年2月26日 (金)、234名の令和3年3月卒業 新理事 (敬称略)

新卒業生が同窓会に新会員として加入しました。クラス代表の理事には、委嘱状を授与しました。また、卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

新卒業生が同窓会に新会員として加入しました。クラス代表の理事には、委嘱状を授与しました。また、卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

◎ 令和3年2月26日 (金)、234名の令和3年3月卒業 新理事 (敬称略)

◎ 令和3年2月26日 (金)、234名の令和3年3月卒業 新理事 (敬称略)

新卒業生が同窓会に新会員として加入しました。クラス代表の理事には、委嘱状を授与しました。また、卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

新卒業生が同窓会に新会員として加入しました。クラス代表の理事には、委嘱状を授与しました。また、卒業記念品として例年